

第100回 薬剤師国家試験問題検討委員会「衛生」部会報告書

平成27年5月29日

日時 平成27年5月23日(土) 13:30~18:00

場所 アルカディア市ヶ谷(私学会館)

出席者

私立大学	57校	93名
国公立大学	13校	17名
計	70校	110名

委員長名	平塚 明
所属大学名	東京薬科大学

1. 総合評価

出題範囲： 衛生薬学全体を網羅しており、概ね適切であった。

難易度： 必須問題は平易で、理論、複合問題がやや難しかった。全体として、昨年度に比較し難易度が上がった印象である。構造式、図表、統計データを多く取り入れ考えさせる問題もあり、全般的に読解力、思考力、応用力を要求する良問は多いが、理論問題のみならず必須問題にも難易度の高い出題があり、理論問題とともに必須問題の出題内容の妥当性について考える必要があるのではないかとの意見がだされた。

複合性： 一部、単独問題としても成り立つのではないかと指摘された問題もあったが、全体としては適切であった。昨年度に比較し難易度が上がった印象である。

2. 各項目の評価

1)「誤りがあると判断された問題」

理論 問136 問題文中の試薬aと試薬bの構造のフェノールと糖との結合において、糖側部位にメチレン鎖-CH₂-が挿入されており構造の記載に誤りがある。

複合 問235 総患者数の推移の図中の心疾患の折れ線グラフについて、1996、1999、2002、2005、2008年のデータは虚血性心疾患の数値である一方、2011年のデータは心疾患（高血圧性のものを除く）の数値であり（平成23年患者調査（傷病分類編）厚労省）、別の分類の数値を混在して用いることは誤りである。

2)「問題の観点から不適切である問題」

理論 問122 問題文中で「禁止着色料」との文言が用いられているが、現在「禁止着色料」としてリスト化されている着色料はなく、この文言の使用は不適切である。また、当該物質は「染料」、「色素」あるいは「試薬」であって、「着色料」と言えるのか疑義がある。

理論 問123 事故米事件は意図的に工業用の米を食用に転売した犯罪であり、同じ意図の犯罪が今後も続く可能性が高いと判断する根拠はない。食品安全委員会は平成21年度の報告で、流通している食用米に定量限界以上のアフラトキシンは検出されていなかったとしている。また、メタミドホスについては、農薬取締法で使用が禁じられ、国産米による健康被害は考えにくい。輸入米の場合、ポジティブリスト制度下で食品として輸入される限り、残留値が監視され、健康被害に及ぶ可能性は低い。したがって、「米を汚染する可能性が高い有害物質はどれか」の正解として示された選択肢は不適切である。

複合 問241 問題文中の「向精神薬」という言葉の定義が曖昧で不適切である。すなわち、選択肢として記載されているLSD およびコカインは「麻薬及び向精神薬取締法」において麻薬に指定されているが、クロルプロマジンも向精神薬として指定されておらず、法的には劇薬及び処方箋医薬品として規制されている。一方、LSDやコカインは国際条約上では向精神薬であり、また「精神に作用する薬物」という点では向精神薬に該当する。さらに、問題文中の「乱用が問題となっている薬物」としてクロルプロマジンが上げられているが、そのエビデンスが不明のまま出題されているとすれば、次年度以降の学生へのメッセージ性を考慮すると不適切である。

理論 問137 問題文中の「活性汚泥法」を「標準活性汚泥法」と考えれば正解(1, 5)と一致する。しかしながら、「標準活性汚泥法」以外に無酸素・嫌気処理を組み合わせた活性汚泥法も「高次処理」として教科書には記述されているので、この場合の正解(1, 4, 5)は3つとなってしまった。したがって、問題文中の「活性汚泥法」は「標準活性汚泥法」と記述したほうが適切である。

理論 問139 選択肢3の亜硫酸イオンのイオン式あるいは記述が不適切である。

4)「複合性が不適切な問題」

特になし

5)「授業で触れていない問題」

別紙1のとおり

その他特記事項

補正対象問題となった発がんプロモーター(問20)に関しては、21大学から問題が不適切、9大学から表現が不適切、28大学から授業で教えていないというアンケート回答が寄せられた。コメントの大半はオカダ酸に関するものであり、検討会においてもオカダ酸のプロモーター作用についてはほとんどの教科書には記述されておらず、必須問題として問うのは難しいというのが大方の意見であった。

3. 各問題の評価

別紙1のとおり

	番号	誤り			適切性			表現			授業で教えて	
		ある	ない	無回答	不適切	適切	無回答	不適切	適切	無回答	いない	いる
必須問題	16	1	65	1	3	61	3	6	60	1	5	62
	17	2	64	1	0	67	0	3	63	1	2	65
	18	0	66	1	1	66	0	0	67	0	2	65
	19	1	66	0	3	62	2	3	64	0	4	63
	20	0	64	3	21	34	12	9	51	7	28	39
	21	0	68	0	0	65	3	0	67	1	1	67
	22	0	67	1	0	68	0	1	67	0	0	68
	23	0	69	0	0	69	0	1	67	1	0	69
	24	0	69	0	1	68	0	2	67	0	2	67
	25	0	69	0	2	66	1	1	67	1	4	65
一般問題 (薬学理論問題)	121	0	68	0	0	66	2	2	64	2	2	66
	122	1	65	1	15	40	12	7	51	9	27	40
	123	2	64	1	9	55	3	6	58	3	10	57
	124	0	65	2	2	63	2	1	63	3	5	62
	125	0	66	1	2	64	1	2	63	2	4	63
	126	0	67	0	3	64	0	0	67	0	4	63
	127	0	66	1	0	67	0	0	66	1	5	62
	128	0	67	0	2	65	0	2	65	0	3	64
	129	0	66	1	2	64	1	7	59	1	5	62
	130	0	66	1	1	65	1	1	65	1	2	65
	131	1	64	2	2	59	6	4	58	5	4	63
	132	0	67	0	1	64	2	0	65	2	5	62
	133	0	66	2	3	65	0	4	61	3	2	66
	134	0	69	0	0	68	1	2	65	2	2	67
	135	0	67	1	5	58	5	3	60	5	21	47
	136	1	67	0	3	56	9	5	60	3	13	55
137	9	57	2	3	64	1	15	48	5	3	65	
138	2	64	1	5	59	3	3	60	4	8	59	
139	1	66	1	1	65	2	3	61	4	8	60	
140	0	67	1	4	60	4	3	61	4	19	49	

	番号	誤り			適切性			表現			複合性			授業で教えて	
		ある	ない	無回答	不適切	適切	無回答	不適切	適切	無回答	不適切	適切	無回答	いない	いる
一般問題 (薬学実践問題)	227	0	66	1	3	60	4	1	63	3	4	57	6	11	56
	229	1	63	3	1	59	7	0	59	8	1	62	4	5	62
	231	0	67	0	2	62	3	4	60	3	2	63	2	7	60
	233	0	66	1	2	59	6	1	61	5	0	65	2	6	61
	235	6	60	1	9	51	7	4	62	1	3	57	7	16	51
	237	0	67	0	4	57	6	1	64	2	2	61	4	22	45
	239	0	65	2	2	60	5	3	59	5	2	62	3	18	49
	241	1	63	3	3	59	5	3	57	7	2	60	5	16	51
	243	0	68	0	2	64	2	3	63	2	3	62	3	11	57
	245	0	68	0	0	68	0	3	63	2	3	61	4	2	66

(注)無回答:「わからない(判断できない)」を表す。また、数字は回答大学数である。